

垂水市の日本遺産マップ

01 垂水麓



麓とは、郷土（農村に
いる武士）が居住して
いた地域。外城とも呼
ばれる薩摩藩の行政区
画。



05 林之城跡、お長屋



垂水島津家の居城、林
之城の跡地。現在も当
時のお長屋が残る。

04 お殿加神社



垂水島津家初代忠将を
祀った社で、2代以久
が永禄8年(1565)建立。

02 垂水人形



江戸時代から伝わる土
人形。人形作りは武士
の内職として行われ、
最盛期には20件の窯元
があったといわれる。

03 垂水島津家墓所



島津一門家（加治木、
重富、垂水、今和泉）
のひとつ垂水島津家歴
代の当主と奥方、子ど
もたちの眠る墓地。

5月20日(月)、垂水市を
含む1県9市(鹿児島県、鹿
児島市、出水市、薩摩川内市、
いちき串木野市、南さつま市、
志布志市、南九州市、始良市)
で構成する「薩摩の武士が生
きた町」武家屋敷群「麓」を
歩く」が県内初の日本遺産
に認定されました。今回の認
定により、まちの景観や歴史・
文化が再認識され、新たな観
光資源として交流人口の増加
が期待されます。

今後については、垂水市に
おける日本遺産を巡る観光
コース等の作成や、表示板等
の整備に取り組んでいく予定
です。



日本遺産
日本遺産とは、地域の歴史的魅力を通じて、日
本の文化・伝統を語るストーリーのことです。
文化財を単に保護するのではなく、地域にある
遺産を活用し、発信することで、地域活性化を
図ることを目的としています。
認定機関：文化庁 認定数：全国83件
←日本遺産ロゴマーク

祝 日本遺産

鹿児島島の「麓」日本遺産に認定



薩摩の武士が生きた町
「武家屋敷群「麓」を歩く」

勇猛果敢な薩摩の武士を育んだ地、鹿
児島。本城となる鹿児島城跡や、県内各
地の山城跡周辺に配置された「麓」と呼
ばれる外城の武家屋敷群が多く残ります。
武士達が心身を鍛え、農耕に従事し、平
和な世にありながら武芸の鍛錬に励んだ
「麓」を歩けば、当時の様子を感ずること
ができるかもしれません。

垂水市の日本遺産

垂水市には現在当時の様子を伝える武
家屋敷等は残っていませんが、当時の建
造物であるお長屋や垂水領主であった垂
水島津家の墓所等が残っています。また、
当時の武士達の生計を支えた垂水人形も、
日本遺産を構成する文化財として認定さ
れています。

©社会教育課
文化スポーツ係
☎ 32-7551

INTERVIEW



垂水市の日本遺産について、
2人の専門家に聞きました。



瀬角 龍平 氏
垂水市文化財保護審
議委員会会長。鹿児
島県文化財保護指導
員



川崎 あさ子 氏
垂水市観光協会観光
部長、日本遺産地域
代表の垂水市地域プ
ロデューサー代表

Q1 垂水麓の特徴と魅力を教えてください

瀬角／垂水麓は、大隅に睨みをきかす防
御の要として設置されたことも特徴にあ
げられます。また、垂水島津家十代貴澄
が学問所「文行館」を開設し、近世文学
が栄えます。現存する書物等を活用すれ
ば、新たな魅力になると思います。

川崎／垂水市には他市のように武家屋敷
群等があまり残っていませんが、食文化
や言葉使用など、暮らしの中に当時の「文
化」を感じることが出来ます。

Q2 今後の展望等について教えてください

川崎／日本遺産は、海外からの観光客も
視野に入れた取組です。ニーズを捉え、
PRすることが大切です。年中行事や郷
土芸能といった日本の文化は魅力的な要
素です。垂水麓には、江戸時代から続く
本町商店街もあるので、商店街との連携
も考えていきたいです。

瀬角／海外の方向けには、文化財の看板
の多言語表示などが必要になるでしょう。
国内外の方々へ、効果的な情報発信の方
法を考えていきたいです。